【別紙様式】

学力向上に効果のある取組事例

津久見市立青江小学校

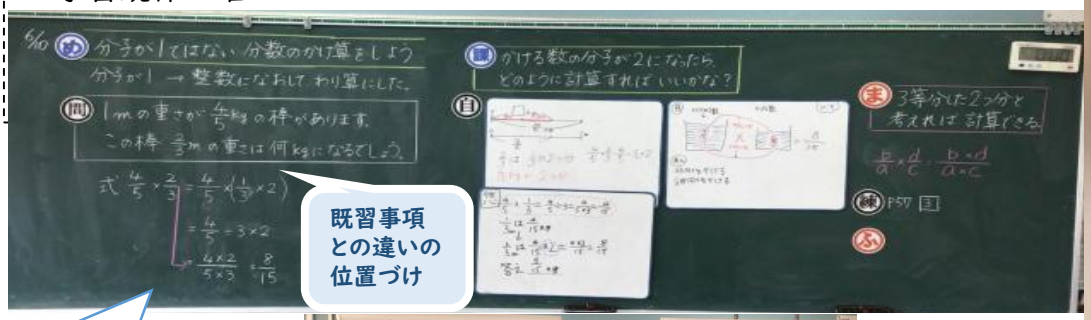
⑰校内研修などによる授業改善

◎若手の人材育成が喫緊の課題

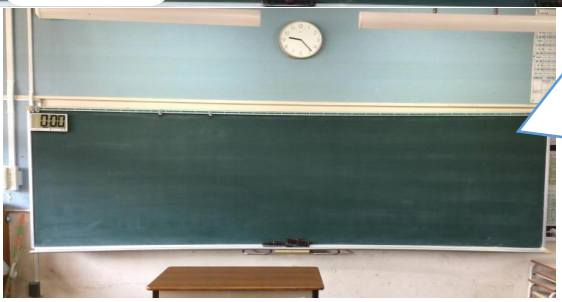
今年度本校は7学級中5人が20代。校内研修を通して基本を押さえ、授業改善を行っていった。

取組の具体①　　青江小授業スタイルの共通理解

①授業の流れとプレートの使い方
・新大分スタンダードに基づいた授業展開を実践。「めあて・課題・まとめ・振り返り」の位置付いた授業
②板書の仕方
・学習内容によっては、課題以降の板書の仕方は、変わってくることは考えられるが、必要事項（めあて、問題、見通し、課題、考えを深める、まとめ）は、確実に板書するようにする。
・子どもの考えを発表させ、整理する際に使うプレートは[自：自分の考え]を使うが、友だちの考えを取り入れたり、個人の考えから考えをまとめていくときに[み：みんなの考え]をノートに位置づけさせる。
③UDの視点から、学びに集中し、既習事項が活かせる教室環境づくり
・黒板には貼りっぱなしにせず、落ち着いた環境を作っていく。学習の足跡などは教室側面に掲示。
・チョークの色、大きさにも気を付ける。
・学習規律の確立

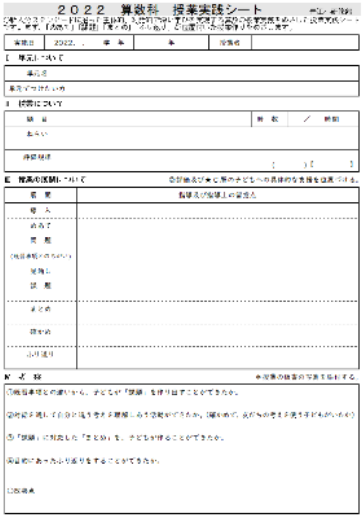


黒板を3分割。左から授業課程に沿っていく。「めあて、課題、まとめ、振り返り」を必ず位置づけ。



教室前面の黒板上には何も貼らない。

プレート、マグネットは黒板の横。



取組の具体②　　授業実践シートの活用

○授業実践シートの書き方の演習
・全員が算数の一単元分の実践シートを作成。グループでの交流。ねらいの書き方、課題の設定、まとめ、振り返りの視点、評価規準について一つ一つ検証。意見の交流。
○主体的な研修への参加
・提案授業の本時の授業実践シートを全員が考えて研修に臨む。授業者まかせにしない主体的な研修への参加。